フィールド博物館
別府温泉地球博物館

ジオツアー

地獄ハイキング

温泉マイスターガイド・オリジナル！

亀川～鉄輪コース －鬼の痕跡をめぐる－

四の湯町ビューポイント

お願いとご注意　歩くときは危険がつきもの

○歩いて実感するのは危険がつきもの。特に地熱地帯は高温の場所です。
足元には十分注意を。沸騰している場所もあります。

○歩くときは足元の準備、水の準備、そして体調と心の準備を。

○別府では、自然であっても持ち主のある場所がほとんどです。
見学するときは、きちんとお願いしてください。

地獄ハイキング

亀川〜鉄輪コース
ー鬼の痕跡をめぐるー

四の湯町ビューポイント

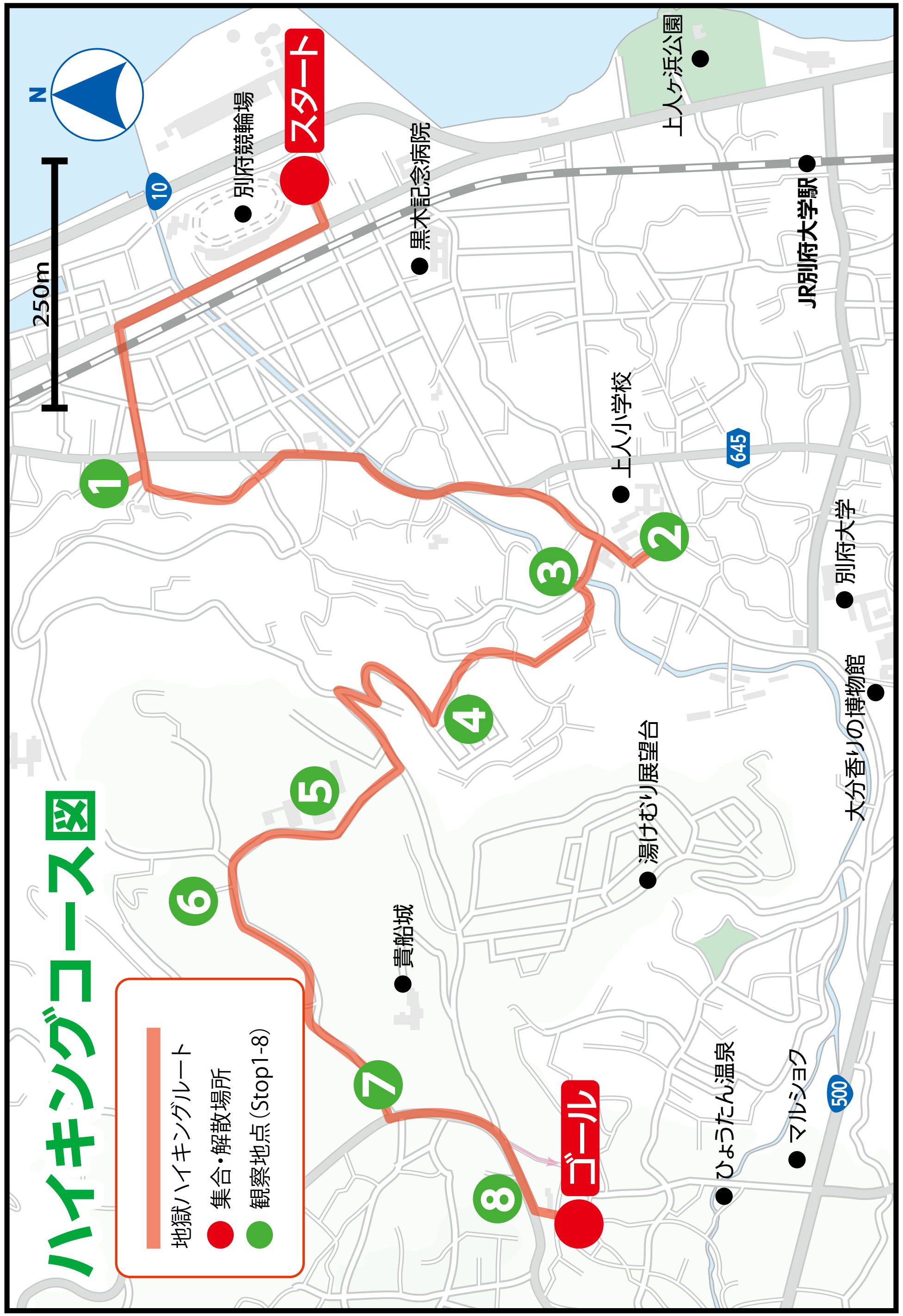
ハイキングの見所と目的

温泉マイスター協会
シニア・マイスター　甲斐 心也

競輪温泉をスタートし、鬼の岩屋古墳、羽室御霊社を経て、鉄輪温泉を目指します。途中、平田地区から急な登りとなりますが、古い火山活動と別府湾の眺めを実感してください。

鬼の岩屋古墳や羽室御霊社には「鬼」に関する伝説があります。

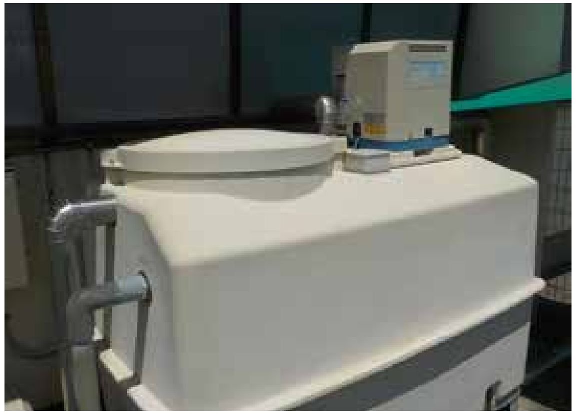
別府市街地を一望できる場所や、十文字原と立命館アジア太平洋大学 (APU) が一望できるビューポイントもあり、変化に富んだコースとなっています。



ハイキングコース

スタート　競輪温泉
↓
Stop 1　西光寺（輪蔵）
↓
Stop 2　国指定史跡「鬼の岩屋古墳」
↓
Stop 3　平田川
↓
Stop 4　亀川四の湯町からの眺め
↓
Stop 5　旧羽室台高校入口
↓
Stop 6　羽室御霊社
↓
Stop 7　大光院駐車場
↓
Stop 8　みはらし坂
↓
ゴール　熱の湯前広場

Start　競輪温泉



　別府市営温泉の一つで、湯が熱いことで知られています。自家源泉は泉温６９．４℃です。
　海岸近くでこれ程の高温泉が湧き出しているのを不思議に思いました。それで番台のおばちゃんに訪ねてみると、夏季には７３℃になる事もあるそうです。
　このおばちゃんが昔、近所の古老に聞いた話として、かつてここは砂浜でアサリの潮干狩りができ、そこに熱い湯が湧き出す場所があったそうです。

1 西光寺（輪蔵）

西光寺は浄土真宗の寺院で、「輪蔵」はかつては経堂内に安置されていましたが、2019 年 4 月に門徒交流センターが建築され、新築の経堂に移されています。

「輪蔵」は柱芯に宝暦 6 （1756）年の記述があり、八代将軍吉宗の後の時代に当たります。

「輪蔵」は芯柱を通した八角形で、正面に仏像、他の 7 面に経典を納めています。この輪蔵を回転させると、納められた経典を読誦したと同じご利益があるといわれています。

2 国指定史跡「鬼の岩屋古墳」

別府市上人西町の上人小学校の裏手に、国指定史跡「鬼の岩屋古墳」があります。

鬼の岩屋古墳は古墳時代後期 (6 世紀後半) に作られた円墳で、玄室内部に円文・蕨文などの装飾が施された装飾古墳です。装飾に使われたのは、血の池地獄の泥ではないかという説があります。

玄室は安山岩の巨石を積み上げて作られており、鬼でなければ作れない巨石であることから、この名になったという事です。

かつては入場料もとる観光名所で、「熊襲穴居の跡」と考えられていました。

3 平田川

鍋山や明礬薬師寺のお滝場あたりを源流とする平田川の中流域です。

平田川は明礬、鉄輪、亀川を西から東に流れ下り、競輪場の北の辺りで別府湾に注いでいます。

2009 年 8 月 20 日の調査によれば、この辺りで水温 36.1℃、PH6.7、溶存物質は 1300 m g を超えるとの記録がありました。

（『別府市自然環境学術調査報告書 別府の自然』（別府市 1994）97 ～ 99 ページ「市街地 の河川」）

4 亀川四の湯町からの眺め

ここから西側の急坂を登り始めます。この急坂は約 30 万年前頃の、実相寺山や高崎山などと同時期に活動した、大観山の火山を登っているのです。このことは活断層図での鉄輪断層のトレースを見ると東西方向であり、南北方向の急坂とは異なるものであることがわかります。ところどころで、火山活動の痕跡である溶岩を観察できます。

上がり切った地点は住宅地として開発が進められ、海岸部の亀川地区との標高差から眺望がすばらしい場所です。

5 旧羽室台高校入口

　ここに「別府石」で作られた見事な石垣があります。別府石とは角閃石安山岩の別府での呼び名です。

「別府温泉辞典」によれば、「かつて別府のいたるところには、鶴見岳をはじめとする火山から、火砕流や土石流として、流れ出してきた安山岩がころがっていました。現在も、道路工事や宅地造成などで土地を掘り返すと、安山岩の転石がたくさん出てきます。人びとは、それらを別府石と呼んで大事にし、いろいろな石材に使ってきました。」

6 羽室御霊社

　四の湯町から、旧羽室台高校前を過ぎた先の民家の奥に、羽室御霊社があります。

　この地区には大神竈門一族の居城があり、後に鎮西八郎為朝に攻め滅ぼされ、為朝が居城を築いたと言い伝えられています。

その後再び　竈門一族の所領となり、室町時代末期まで続いたという事です。

　現地の案内板によれば、「杜の創建は、古くは鎌倉時代と言われている。二三基の五輪塔が古搭群を形成している。また、社には、滝沢馬琴の椿説弓張月で有名な源為朝が弓を掛けたといわれる老松が昇天の龍さながら、枝をうねらせていた。今はその松（弓掛けの松）も枯れ昔を偲ぶことすらできない。」とありました。

7 大光院駐車場

ここからは北方面に立命館アジア太平洋大学（ＡＰＵ）や十文字原、別府湾ＳＡが一望できます。十文字原は海抜500mの高台で、「日本夜景遺産」に指定されています。

ここには大分県内のテレビ・ラジオ局の中継塔が立っています。昭和32年に建てられた「別府タワー」は、そもそもこの中継塔となる予定でしたが、十文字原なら大分市まで電波が届くことから、計画が変更されたとの事です。

8 みはらし坂

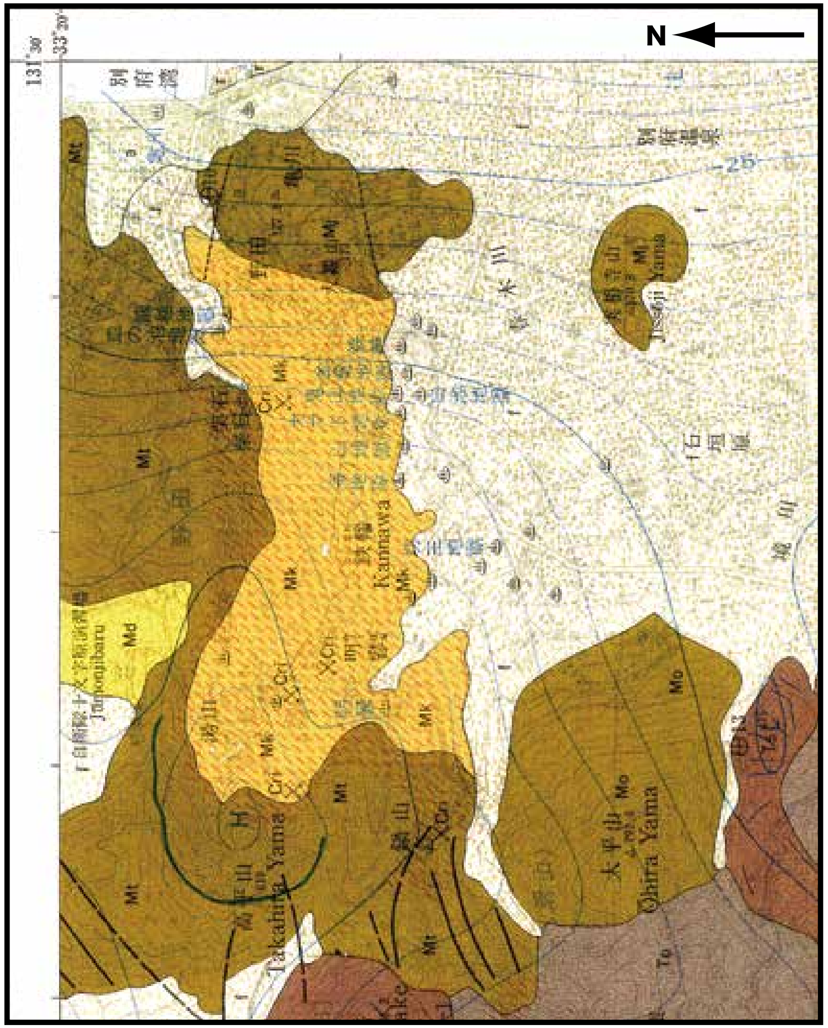
北鉄輪から熱の湯温泉に降りる坂で、鉄輪断層崖を下る坂です。熊本地震直後の2016.5.10の地獄ハイキングでここを訪れた時のレポートです。「ハイキングコース中の鉄輪温泉熱の湯裏の急な断崖は、鉄輪断層のズレによって生じた痕跡であるとの説明があり、みはらし坂の上部から眺めると、断層崖の上部と直下にブルーシートが掛かった民家が集中しています。今回の地震ではこの断層付近が局部的に大きく揺れたことを如実に物語っています。」

Goal 熱の湯前広場

ゴールの熱の湯前広場です。熱の湯はそもそもゆるい湯の温泉だったそうで、「熱を冷ます」という意味の熱の湯なのです。洗濯場跡が残っていますが、熱すぎると洗濯ができないですからね。

現在は渋の湯上の市有源泉からの引き湯で、泉温 83.4℃、PH4.1 の弱酸性、成分総量 4535mg の塩化物泉で、ﾒﾀｹｲ酸の含有量は 689.6mg の美肌の湯です。

参考資料　亀川周辺の地質図

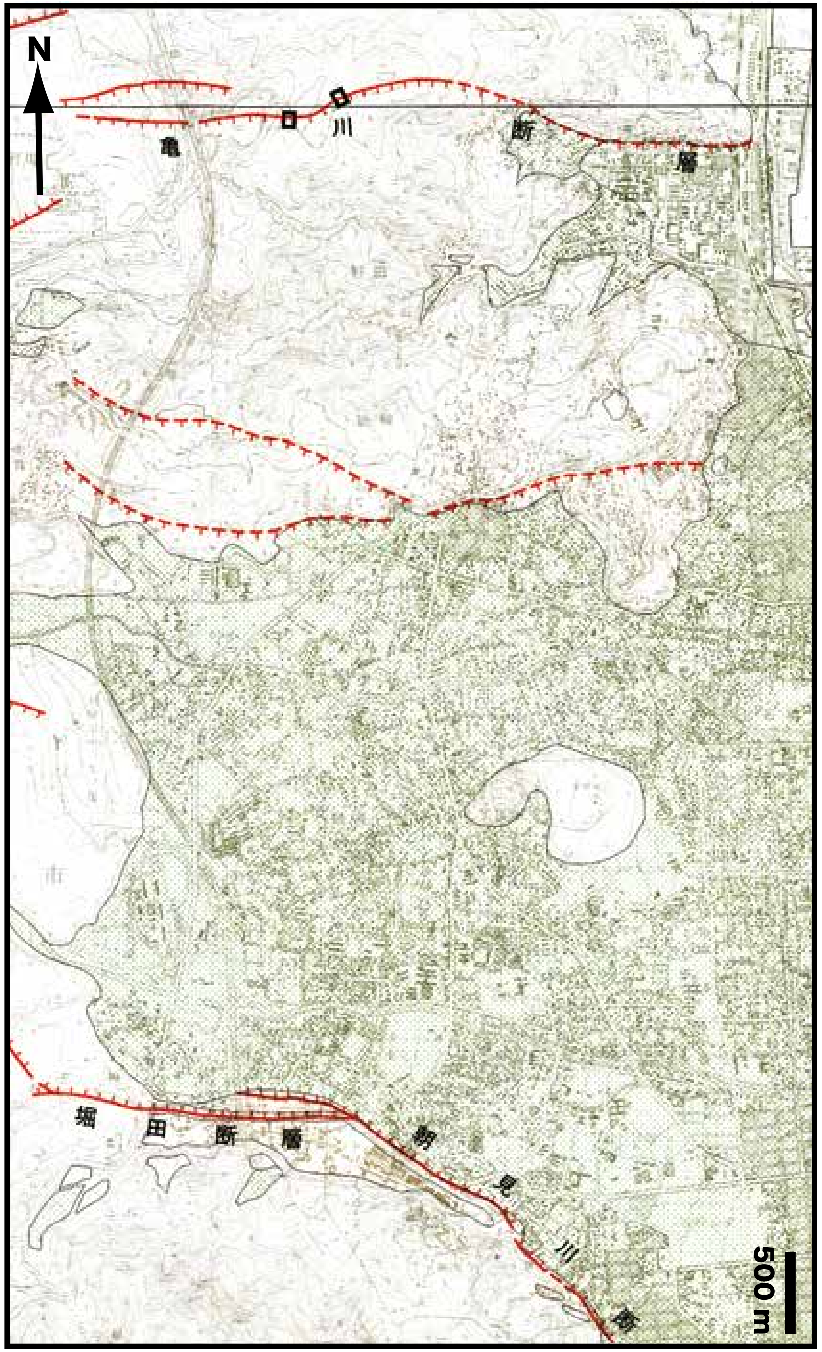


（1／50,000：別府）

凡例（抜粋）

沖積層 Alluvium		a	礫・砂・シルト及び火山灰 Gravel, sand, silt and ash
扇状地堆積物 Fan deposit		f	礫・砂及び火山灰 Gravel, sand and ash
高平山火山 Takahirayama Volcano	鉄輪岩屑なだれ堆積物 Kannawa Debris Avalanche Deposit	Mk	岩屑（輝石角閃石安山岩） Debris (pyroxene-hornblende andesite)
	十文字原岩屑堆積物 Jūmonjibaru Debris Deposit	Md	岩屑（輝石角閃石安山岩） Debris (pyroxene-hornblende andesite)
	高平山溶岩 Takahirayama Lava	Mt	溶岩、火砕岩を伴う（輝石角閃石安山岩 Ahya, tb） Lava with pyroclastic rock (pyroxene-hornblende andesite)
	大平山溶岩 Ōhirayama Lava	Mo	溶岩、火砕岩を伴う（輝石角閃石安山岩 Ah, ayb） Lava with pyroclastic rock (pyroxene-hornblende andesite)
実相寺山火山 Jissōjiyama Volcano		Mj	溶岩（輝石角閃石デイサイト Dhy, bta） Lava (hypersthene-hornblende dacite)

参考資料　　　　　亀川周辺の活断層図



（1/25,000：別府）

memo

お疲れさまでした !!

【監　修】　竹村恵二（フィールド博物館代表 / 京都大学名誉教授）
別府温泉地球博物館
https://beppumuseum.jp　メール：info@beppumuseum.jp